目　次

平成23年 第4回甲賀市議会定例会一般質問

平成23年9月9日･12日･13日

順番	質問方法	氏　名	質　問　事　項
1	分割	土山　定信	1　台風6号から甲賀市が学んだこと
			2　クリーンセンター滋賀の放射能測定器について
			3　甲賀市内のポスター・看板について
2	分割	木村　泰男	1　中嶋市政二期目を問う
			2　庁舎改修整備事業について
			3　自治振興会と地域市民センターについて
3	分割	的場　計利	1　甲賀市情報通信基盤整備事業音声通報サービスは、全戸公費負担で端末受信器設置と無料供用を
			2　災害避難所への避難誘導看板の設置を
4	分割	谷永　兼二	1　自然エネルギー推進について
			2　公共交通について
			3　住宅リフォーム補助制度について
			4　市道の管理について
			5　県立高等学校再編計画について
5	分割	葛原　章年	1　環境施策について“美しい甲賀を未来につなぐために”
			2　教育施策について“教育環境の充実を目指して”
			3　庁舎改修整備事業について“市内全域の庁舎整備の視点から”
6	分割	辻　　重治	1　放棄造成地の対応について
			2　農産物の安全性向上について
7	分割	橋本　恒典	1　高齢者福祉の現状と介護予防について
			2　甲賀市の文化財について
8	分割	山岡　光広	1　福島原発事故の教訓を生かし、原発のすみやかな撤退と自然エネルギー への転換を求める ◇危険な原発からすみやかな撤退を政治的に決断する時 ◇福井若狭湾に集中する原発の危険性に対する緊急対応を求める
			2　公契約条例の制定について
			3　自治振興会と自治会未加入市民に対する対応について
			4　甲南グランドゴルフ場の利用と施設改善について
			5　河床の浚渫、樹木の伐採について
9	分割	田中　新人	1　農業問題について
			2　国道1号拡幅工事について
			3　水口体育館の雨濡れ等について
10	分割	森嶋　克已	1　甲南社会福祉活動センターへの進入路について
			2　小・中学校の通学路の安全対策について
11	分割	加藤　和孝	1　災害に強いまちづくりについて
			2　公立図書館の「雑誌スポンサー制度」の導入について
			3　甲賀市スポーツ施設条例について
12	分割	中島　　茂	1　健康こうか21計画について
			2　甲賀市の教育の課題について
13	分割	中西弥兵衛	1　甲賀市庁舎改修整備検討委員会設置のあり方を問う
			2　H23年度重点施策の展開と進捗状況を問う
			3「元気なこうか」行政経営研究会設置による政策形成能力向上事業の内容と進捗状況を問う
14	分割	小松　正人	1　低所得者の市税滞納にかかる差押え処分は不当　直ちに返還せよ
			2　市が扱う軽自動車の車検切れ後の処置と課税について
			3　公立貴生川幼稚園・保育園を存続し、認定こども園との共存を図るため貴生川公立園の廃止条例を撤回せよ
			4　鈴鹿山系のうまい天然水を特産資源として開発し、販売できないか
			5　スポーツの森キャンプ場とその周辺の整備と改善を問う
15	分割	安井　直明	1　市職員の不祥事・交通事故から再発防止策の検討と対策を問う
			2　住宅リフォーム制度の予算の拡大を
			3　かもしか荘の整備計画を問う
			4　震災の教訓からも自主防災組織の強化を
			5「鹿深ホール」等の今後の利用について
16	分割	小西喜代次	1　学校現場での日の丸・君が代のあり方について
			2　信楽高校分校化反対の取り組みについて
			3　市立医療機関での無料低額診療事業について
			4　信楽の保健センター・乳幼児健診について
			5　水口サマーサッカー研修大会への補助金について

一般質問

16人の議員が 市の考えを問う

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の模様をご覧いただけます。

http://www.city.koka.lg.jp/

◎傍聴のご案内
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

土山定信 議員

Q　クリーンセンターに放射能測定器は

A　設置されました

問　放射能測定器をクリーンセンター滋賀に設置の要望を出すべきだと22年3月の私の一般質問で問い、再度23年7月にも質問した。なぜ時間がかかったのか。経緯は。

市民環境部長　最初リースで設置していて、返還し、また設置したもの。経緯については説明を受けている。

問　放射能の測定結果を確認する外部組織がなく地元区長さん等を交えた管理体制が必要ではないか。

市民環境部長　環境公社が地元や市に説明責任を果たすべきであり、市として新たな組織は考えていない。

問　本施設に震災廃棄物の搬入は。

市民環境部長　現在のところ搬入予定は無いと回答を得ている。

問　市内の看板ポスター類で明らかに違法と思われる看板が数年前から放置されている。学校横の看板もあり、撤去しないのか。

建設部長　指摘されている看板は昨日撤去した。

問　場所によりバス停に企業のポスターが張っているが建物の管理は。

建設部長　バス停の設置経緯により差異があるが今後統一をしたい。

佐山小学校横のポスター

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

木村泰男 議員

Q 中嶋市政 二期目を問う

A 将来に向け、しっかりやり遂げる

問 **自治振興会と地域市民センターの現状と、提案当初の思いとのかい離は。**

市長 市の提案の姿とも、当初の思いとも一致している。

問 **情報化サービスの市民理解と加入促進をどのように図るか。**

市長 きめ細かな「愛ある情報基盤」を構築し、学区や自治会、各種団体への積極的な説明会を実施する。

何本も走る光ケーブル

問 **中嶋市政二期目に残された期間は1年、どのように新規事業を推進されるのか。**

市長 将来に向けた発展のため、今やらねばならないことを、しっかりやり遂げる。

問 **自治振興会事務加算金による事務局員と事務所の設置状況は。**

総合政策部長 全ての自治振興会に事務担当者がおられ、事務所が設置されている。8つの地域市民センターで行政の事務所と同室。

問 **2名配置の地域センター職員で地域内巡回は可能か。**

総合政策部長 可能な限り巡回し、ふれあいを大切にしている。

問 **自治基本条例制定の進捗状況は。**

総合政策部長 自治振興委員会と各自治振興会で協議・調整し、策定へとつなげる。

※この他にも「庁舎改修整備事業」について質問しました。

的場計利 議員

Q 音声端末の全戸設置と無料供用を

A 積極的かつ前向きに検討する

問 **地域情報化基盤整備事業では市民に行政情報や災害発生時の緊急情報を、全市にくまなく即時に伝達するために、音声通報の端末器を全戸に設置および無料で利用できないか。**

市長 3・11の東日本大震災を大きな教訓として「愛ある情報基盤整備」において、万一の場合の備えとして、緊急情報を伝えるため屋外拡声器はもとより市内全ての家庭に音声告知端末の設置が効果的な方策と考える。

公設による音声放送の全戸引き込みや無料供用を念頭に置きながら積極的かつ前向きに検討を進めていく。

問 **外出時などで突然災害に遭った時に、先ず身体の安全を守るため、速やかに避難所へ逃れられるように、避難所誘導看板の設置を。(伊賀市の事例にならう)**

政策監 残念ながら、地理に詳しくない方や子どもなど誰もが容易に避難できる案内看板は設置できていない。

有事を想定して、非難所の見直しも含め、誘導看板の設置場所については地元などと協議し、安全で分かり易い避難路を考えながら幹線道路や目立つところに、避難所誘導看板を設置していけるよう検討していく。

避難所誘導看板（伊賀市）

谷永兼二 議員

Q 信楽高校分校化 反対について

A 動向に注視しながら 要望を行う

問 **信楽高校において は、県立高校再編計画の反対を訴える組織が立ち上げられ、活動を行っている。ただ単に分校化に反対するのではなく、ビジョンを描き将来を見据えた議論にするべきだと考える。地場産業や甲賀市のまちづくりにも関わってくると思われるが見解を。**

市長 信楽における陶芸、窯業は甲賀市のみならず滋賀県が誇る伝統的文化・産業と認識している。この地場産業の継承と発展は、甲賀市においても大切な資源であるとも認識している。何よりも、わが国が誇る「ものづくり」を通した人材育成は、本校の果たす最大の使命と考える。

信楽高等学校を分校化でなく、従来どおり存続させると共に、全国的に例の少ないセラミック科・デザイン科に重点を置いた特色ある高等学校として、県立大学との連携、高大一貫教育を行うなど、有益な地域人材を育成できる、時代に即した再編計画となるよう、県並びに教育委員会に要望を行った。今後とも、その動向に注視しながら、要望を行う。

信楽高等学校

※他に自然エネルギー推進・公共交通・住宅リフォーム補助制度・市道の管理について質問しました。

一般質問

葛原章年 議員

Q 再生可能エネルギーへの転換は

A 自治の新たな課題としていく

問 **甲賀市の環境施策の今日までの取り組みと、今後の再生可能エネルギーへの転換についての所見を伺う。**

市長 甲賀市地域新エネルギービジョンに基づき、自然エネルギーの活用を検討してきた。従来からの省エネルギーの推進や地球温暖化対策など、今後も環境に関する取り組みを進めていく。これまでのエネルギーの問題は国策であることから、自治体や市民は議論してこなかった側面もあるが、再生可能エネルギーについては、経済性や技術面において難しい問題も多く、自治体が単独で取り組むことに限界があるが、今後、自治体の新たな課題としてとらまえていく。

問 **循環型社会の構築に向けての庁舎管理でのエコオフィス活動を実践した成果は。**

総務部長 地球温暖化対策に率先して、主体的に取り組むため「ラブアースこうか2007」甲賀市地球温暖化対策実行計画を策定し、「電気使用料の削減」「燃料費の削減」「公用車の適正利用」等に取り組んでいる。また、H23年度環境配慮枠事業の前倒しにより、月間の電気使用量を7月で前年比11.1％、8月で15.1％の削減を達成することができた。

甲賀市地球温暖化対策実行計画

辻 重治 議員

Q 農作物の安全性向上は

A 独自に調査を実施する

問 **稲ワラや牛肉、米にも、放射性物質が検出されている産地があるが、近江米（甲賀米）の安全性向上の取り組みは。**

産業経済部長 米は、主食であることから、安心して近江米を食していただけるよう、またブランドイメージを守るため、各種分析測定を実施した。

セシウムなどは検出されず安全が確認され、市のホームページで迅速な情報提供に努め甲賀産米の安全性確保に努めた。また、米・茶・野菜など生産履歴の記帳活動を推進し、安全安心な農産物を消費者に提供し量や価格の安定に努めている。

積み込まれる安心な甲賀米

問 **放棄された住宅造成地の対応と不法投棄の対策について。**

建設部長 放置された造成地は現在15ヶ所ある。規制等が行われなかった時代に民間主導で行われたもので、都市計画法はもとより関係法令の対応から、大変難しい事案である。

市民環境部長 重点監視地域として監視し、地域と協働して早期発見と可能な回収をする。

橋本恒典 議員

Q 高齢者福祉の現状と介護予防は

A 住み慣れた地域でいきいきと

問 **高齢者福祉の基本的な考え方は。**

健康福祉部長 高齢者が住み慣れた地域で社会の一員として社会参加や地域貢献をしながらいきいきと元気に暮らしていただくため、高齢者福祉施策や介護予防事業に取り組んでいる。

問 **地域包括支援センターの現状と今後の方向性は。**

健康福祉部長 市では3つの地域包括支援センターを設置し、それぞれの圏域における相談業務を行っている。高齢者の増加とともに相談件数や訪問件数が増加しており、地域包括支援センター充実の検討も必要。

問 **指定文化財の状況と保存は。**

教育長 甲賀市には国・県・市の指定を合わせて259件の指定文化財があり、それぞれ適切に管理いただいている。

個人所有の古文書（佐治文書）

問 **無形民俗文化財の伝承と記録保存は。**

教育長 後世に継承していただくための保存団体への補助を行うとともに、文化庁の補助事業を活用し映像記録を順次進めている。

問 **歴史民俗資料館の管理運営は。**

教育長 市直営と指定管理者制度により管理運営を行っている。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山岡光広 議員

Q 「もんじゅ」廃炉、敦賀原発建設中止を

A 具体的に要望する段階ではない

問 **原発撤退の世論は大きい。もんじゅの再稼働をやめ廃炉、敦賀3号機・4号機の建設中止を。**

市長 国や事業者の安全に関する実施状況により判断すべき。現在は具体的な廃炉や中止を要望する段階ではない。

問 **公契約条例の制定を。**

市長 実効性の観点からまずは国の統一的な施策の整備が必要。

問 **甲南グランドゴルフ場。登録団体が主催する大会の日程は配慮ある対応を。簡易トイレの改善を。**

教育部長 上に繋がる重要な大会であれば早い段階で申請をいただき、予約がとれるよう配慮する。仮設トイレの「取っ手」設置へ検討する。

問 **河床の浚渫、樹木の伐採を。**

建設部長 区・自治会からの要望は昨年78件、今年85件。このうち県で実施したのは大規模な浚渫7件、大河川の竹林伐採3件。環境整備は十分にすすんでいない。県に働きかけていきたい。

甲南グランドゴルフ場

田中新人 議員

Q 甲賀市のコメ放射能検査は

A 甲賀米は安全である

問 **甲賀市のコメ放射能検査について伺う。**

産業経済部長 9月2日に甲賀市で収穫された米の検査の結果、放射性物質は検出されず、甲賀市産米は安全であることが確認された。

問 **汚染米が見つかった場合の管理体制は。**

産業経済部長 当市においても県が示す米の放射性物質調査フローに基づき、県、JAなど関係機関と連携を図りながら、対応する。

“安全な甲賀米”の収穫

問 **安全・安心な滋賀県産農産物を生産する肥料等について伺う。**

産業経済部長 肥料に含まれる放射性セシウムの最大値、暫定許容値が1kg当たり400ベクレルに設定される。県から販売店向け通知が発送され、販売される肥料等が暫定基準値を超えていないことの確認や購入者からの問い合わせ対応、指導が徹底されている。

問 **遊休農地対策は。**

農業委員会事務局長 耕作放棄地全体調査の結果を図化管理し、毎年実施するフローアップ調査の結果を追加図化し、調査資料の更新を行っている。遊休農地の所有者に対して意向を確認の上、遊休農地の解消指導を行う。

※他に国道1号拡幅工事、水口体育館の雨漏れ等についての質問をしました。

森嶋克巳 議員

Q 甲南福祉センター建設の進入路は

A 市道より甲南中学校正門へ進入

問 **旧甲南学校給食センター跡地に建設する甲南社会福祉センターへの工事車両の進入路はどのコースにするか。**

健康福祉部長 甲南社会福祉センター（仮称）建設時の工事用車両の進入コースは、市道新橋・仲之町線から甲南中学校正面に直進する道路を利用する。

甲南社会福祉活動センター建設場所

問 **中学生の自転車通学や職員の通勤車両の混雑の解消と事故対策はどうするか。**

健康福祉部長 通学時間には警備員を配置し、工事車両は最徐行運転で安全を確保する。

問 **小・中学校の通学路の危険個所の改修や補修の要望は何件提出されているか。また、それをどのように処理しているか。**

教育部長 昨年度各学校やPTA等から提出された要望書は、水口町9件、土山町35件、甲賀町80件、甲南町50件、全体で174件で教育委員会で取りまとめ、要望内容によって各事業担当課に検討を依頼し、報告後は速やかに書面で回答している。

問 **スクールガードの組織と活動は。**

教育長 全小学校で2、694人の登録があり、ボランティアで通学の安全安心活動をしていただいている。

一般質問

加藤和孝 議員

Q 避難所仮設トイレの整備計画は

A 生活必需品として備蓄に努める

問 **避難所の仮設トイレの整備計画は。避難所運営マニュアルの策定予定は。静岡県が開発した避難所運営ゲームを導入しては。災害情報等の伝達手段としてエリアメールを導入しては。**

政策監 仮設トイレの整備計画はないが、災害発生時に避難所のトイレが使用不能となった場合、防災備蓄倉庫に備蓄している使い捨ての簡易トイレセットと簡易組み立てトイレにより対応する。トイレについても食料備蓄と同様に大切なものであるため、備蓄に努める。避難所運営マニュアルは必要不可欠であるため、市において雛形となるマニュアルを作成し、各避難所の実情に合った内容に追記、修正していただく。避難所運営ゲームについて運用を検討する。エリアメールも導入について検討する。

避難所運営ゲームの取扱説明書

問 **全国的に公立図書館で「雑誌スポンサー制度」という民間活力を生かす制度が導入されているが、本市でも導入しては。**

教育部長 すでに実施されている他の図書館の事例を参考に導入について検討する。併せて、市民の積極的な参画意識の高揚を図るべく図書館サービスの充実に努める。

中島 茂 議員

Q 健康こうか21計画について

A ヘルスプロモーションの考え方で作成

問 **健康こうか21計画の具体的な支援策は。**

健康福祉部長 生活の質を向上させる啓発、健康教育を実施し、健康で長生きするための日常生活の充実に対し支援する。

問 **健康をづくりの考え方は。**

健康福祉部長 それぞれの年代に応じた生活習慣に取り組んで頂き、生活習慣病の予防につなげて健康をつくる。

問 **関係機関、行政の役割について。**

健康福祉部長 健康に取り組みやすい環境が必要。教育機関では、子どもの命や健康の大切さを、実践できる資質や能力を育てる。医療の分野では、専門性のある知識や健康への情報提供、相談、指導の役割。地域では、健康推進員による健康への活動支援。行政は、市民の健康づくりや普及啓発活動や情報提供を推進します。

子どもの健診

問 **計画推進と政策の必要性は。**

健康福祉部長 本計画はヘルスプロモーションの考え方で策定した「甲賀市健康づくり推進協議会」を設置し、毎年の実施計画や進捗状況について協議します。

問 **医療費の伸びは。**

市民環境部長 滋賀県平均、年6%の伸びである。

※中島議員の一般質問の4行目に健康福祉部長の文字が重なっておりましたのでお詫びして訂正致します。

中西弥兵衛 議員

Q 平成23年度重点施策の進捗状況は

A プロジェクトチームにて検討中

問 **新名神高速道路を活用した地域づくり事業の「観光部門」での取り組み状況は。**

市長 地域ブランドの開発などを行う「こうかの宝創設事業」とアンテナショップの設置などを行う「こうかの宝ー発信事業」のほか「忍者」をコンセプトにした「こうか忍者プロジェクト2011事業」に取り組んでいる。

問 **土山SA内に設置された「アンテナショップ」の現況はどうか。**

市長 8月6日から土日、祝日を基本に観光ボランティアガイドの協力を得て「ぐるっと甲賀・観光情報発信処」を開設。今後の観光戦略策定に必要な情報収集に努めている。

問 **「忍者」「宿場」「信楽焼」をモチーフにしたラッピングバスの取り組み状況はどうか。**

市長 公募で決定したデザインをラッピングした高速バスが9月末から新大阪駅～土山SA～近鉄四日市間を一日1.5往復する予定でインパクトは大きいと考える。

運行を開始したラッピングバス

問 **新名神活用戦略素案の進捗状況は。**

市長 現在プロジェクトチームを構成し原案を作成中であり、今後パブコメを行い年度内に活用戦略として決定する。その後、総合計画の後期基本計画の最重点戦略と位置づけ、平成24年度から実施に移したい。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小松正人 議員

Q 低所得者の差押えは不当、返還を

A 法的に問題なく返還できない

問 市民の生活が激変して市税滞納となった事例がある。係は、実情を調査・把握したか。

市長 納税指導員が訪ね、納付相談している。

総務部理事 自らが納税相談に来庁して頂かない限り把握は困難。

問 低所得者の滞納にかかる差押え処分は不当、返還せよ。

総務部理事 法的に問題なく返還できない。

問 市が扱う軽自動車の車検切れ後の処置と課税について、県は車検切れ後の半年間に納税がなければ、職権で課税保留している。市は、県の方式に改善できないか。

市長 所有により課税を行っている。

問 鈴鹿山系のうまい天然水を特産資源として、販売できないか。

上下水道部長 災害発生時に、備蓄用飲料水として検討している。

問 スポーツの森キャンプ場とその周辺の整備と改善をせよ。

建設部長 東キャンプ場のトイレの水洗化は北内貴との協議が必要で、整備していない。

東キャンプ場の旧和式トイレ

問 貴生川幼保にかかる答弁は親身ある合理的説得力がない。法廷への提訴をどう思うか。

教育長 子ども達の教育環境の大切さをご判断頂ける時をもってご理解を得たと考える。

安井直明 議員

Q リフォーム補助枠の拡大を

A 来年度に検討する

問 市職員の不祥事・交通事故から再発防止策の検討と対策は。

市長 綱紀粛正と服務規律の確保を言ってきた。使命感を持ち仕事に励むよう指導する。

副市長 気軽に相談できる風通しの良い風土の醸成が大切である。

総務部長 交通事故については、毎朝の朝礼で注意を喚起。毎月1日・15日には管理職が街頭啓発している。

問 住宅リフォーム制度の申請様式の簡素化、補助対象の拡大、補正予算の拡大を。

産業経済部長 最低限の書類である。

市長 アンケートを取り検証し、補正は見送り来年度検討していく。

問 かもしか荘の整備計画と露天風呂の増築を。

産業経済部長 24年度から工事をし、25年度中に再開したい。風呂の増築は関係者と協議する。

かもしか荘

問 震災の教訓からも自主防災組織の強化を。

政策監 先進事例の紹介や説明を行い、補助については予算確保に努める。地元集会所の耐震調査をする。

問 鹿深ホールの今後の利用と駐車場の拡大を。

市長 行政組合で修繕の後、公民館の施設として検討。駐車場拡張の予定はない。

小西喜代次 議員

Q 保健センター、乳幼児健診をもとに戻せ

A 変更は考えていない

問 学校現場での日の丸、君が代は、政府答弁でも強制しないとなっている。学校行事の前に事前指導はしているのか。

教育長 特別に通達を出したり、学校でも職務命令は出していない。

問 信楽高校分校化反対を、市民の願いにこたえて全市あげた取り組みが必要ではないか。

知事に申し入れる守る会代表

市長 従来どおり存続させるとともに、特色のある学校として、時代に即した再編となるよう、県並びに県教育委員会へ要望を行った。

問 低所得者などに無料または低額で診療を行う無料低額診療事業を公立の医療機関だからこそ、率先すべきと考えるが認識はどうか。

病院事業部長 経営面の圧迫になるため、市立の医療機関では事業適用は考えていない。

問 市民の声に応え、保健センターの全面開設と、信楽・土山での乳幼児健診の復活を求める。

健康福祉部長 保健センターは特段の不都合は無く、全面再開は考えていない。乳幼児健診は出生数の地域差の拡大を踏まえ、スタッフの充実や技術力、機動力の向上を高めた。理解を願いたい。